

道連ニュース

2010年9月号 No.51

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連
報告

福祉活動ネットワーク懇談会がスタートしました

当会の第2回理事会（7月）決定に沿って「福祉活動ネットワーク懇談会」が9月1日に初会合を持ち、スタートしました。

この懇談会は少子高齢化・地方の過疎化とインフラの崩壊・自治体財政の不足などが進む社会状況の中で、全道への商品供給網を持ち、また、医療・共済・住宅・高齢者福祉を分野とする生協も活動する北海道の生協がネットワークをつくることで、現在の福祉活動に加えて豊富な活動を展望できるのではないかという問題意識を出し合ってみようとの趣旨でスタートしたもので

です。懇談会は来年5月に一定の考えをまとめることにしています。

第1回はコープさっぽろで研究している『高齢組合員のくらしの安心「くらしの応援隊」』の構想を説明してもらって質疑で深めました。懇談会はこれらを手掛りに「組合員の要望と生協の役割」を検討していきます。なお、参加生協はコープさっぽろ・生活クラブ・北海道労済・北海道住宅・北海道医療・さっぽろ高齢者福祉の6つです。第2回は11月の予定です。

第3回福祉・事業活動交流会を開催しました

8月23日、さっぽろ高齢者福祉生協の「イリスもとまち」にて第3回福祉・事業活動交流会を開催しました。これまでの参加生協（コープさっぽろ・生活クラブ・道労済・道医療・さっぽろ高齢者福祉）に、今回から高齢者向けリフォームなど住宅改修事業も行っている道住宅生協も加わり6生協です。

開催に先立ち、会場にお借りした『イリスもとまち』の施設見学を行いました。各生協同士の交流は行われていますが、見学する機会が持てないため企画しました。設立5年目に入り2つの有料老人ホームを順調に運営し、今年の4月から在宅介護サービスを始められ地域福祉活動に取り組んでいます。

交流会は道労済生協の本間センター長に議長をお願いし、前川専務理事の開会あいさつの後、各議題に入りました。道連からはこの間の「生協の介護・福祉サービス」パンフレット発行のまとめ、会員生協の紙面交流状況、生協間の連携及び提携動向を報告。6生協

からは、介護事業や助け合いの会、基金活動、子育て活動など福祉分野に関わる2009年度まとめと今年度計画について詳しく報告がありました。共有課題では十分な時間が取れませんでした。「介護福祉」案内パンフレット発行の継続や労済主催「ホームヘルパー養成講座」開講への募集協力、学習会開催の検討などの意見交流を行いました。



「イリスもとまち」の多目的室を会場に

コープ
くらしの相談室

消費者問題で「ロールプレイング講座」を開催

コープさっぽろ東地区委員会で、8月20日ロールプレイング講座を開催しました。「次々販売」「盗難カード」「離婚」「ケータイ・トラブル」の四つのシナリオに基づいて配役を決めセリフを言うことで、騙すトーク・騙されるトークを体験してもらいました。相談室の事

例をお話したり、生活に役立つ情報を提供したりしながら、楽しく学習できました。この講座で一人でも多くの方々に賢い消費者になっていただければと思います。

《参加者の感想》

4パターンそれぞれのトラブルについて何うことが

出来てよかったです。／キャッシングゼロ設定は初めて知りました。早速電話します。／多くの被害の話を聞いてよかったです。／どれも身近な話題なので、大変参考になりました。／自分の身を守るのは自分なので、契約する時にはきちんと契約書を読む、安易な契約をしない、ということを中心に心がけていきたいです。／生活の中には、危ないことが沢山潜んでいるんだなあ、と改めて実感しました。／ロールプレイは楽しく事例を学べました。



ロールプレイで消費者被害の学習

「2010夏休み in おしごとキッズ」が行われました！

コープさっぽろ

～子ども達に好評な「お店体験」～

2010年夏休みコープさっぽろ全9地区の店舗及び宅配センターで、子ども達のお仕事体験「おしごとキッズ」が開催されました。昨年開始された、コープさっぽろの店舗（函館地区はトドックで実施）で行われる「おしごとキッズ」は、募集人数の倍以上の応募地区もある人気の企画です。農家の収穫体験から、物流センターで学ぶ商品流通の仕組み、そして店舗で商品化や品だし、レジ打ちなどを体験する「おしごとキッズ」は、たべものが食卓へ届くまでを体験する「食



育」体験です。一番人気は参加費2,000円のお店体験ですが、中でもレジ体験や店長のマイク放送体験に挽き肉作業など、全て実際の作業を体験出来ることが人気の秘密ようです。接客の訓練を受け、厳しい衛生の手洗いを体験したりする事で、スーパーマーケットの仕事の厳しさや大人の努力を学んでもらうことも貴重な体験となっています。営業中の店内で繰り広げられる「おしごとキッズ」は、買い物中の組合員さんからも暖かい目で見守られる、生協ならではの企画になっています。コープさっぽろの「おしごとキッズ」は、小学校の夏休み、冬休みにご案内をしています。



新発着店の作業説明を受けている様子

ホクネット報告

第9回適格消費者団体連絡協議会を開催

全国から札幌に13団体が集結

8月28日、札幌市内に全国9つの適格消費者団体とその認証を目指している4つの団体が集まって、第9回適格消費者団体連絡協議会が開催されました。北海道の消費者支援ネット北海道がホストを務めました。この交流会は年2回持ち回りで開催されていて、主に事業者への改善申入れテーマ、そして差し止め請求事案の内容を交流し横断的に研究し合う目的です。

この度の会には上記団体のほかに消費者庁、北海道環境生活部、札幌市消費者センターからオブザーバー参加があり、道環境生活部・中西生活局長、札幌市・渡辺センター長から道と市の消費者行政施策について報告を戴きました。また、消費者庁からも「集团的消費者被害救済制度研究会」報告について解説がありました。

今回の協議会では前回2月以降に差し止め請求訴訟を起こした4つの適格消費者団体（埼玉、ひょうご、京都、関西）から6つの訴訟事案について報告がありました。着物レンタルの過大なキャンセル料、資格試験予備校の解約を縛る契約、旅行社のキャンセル条件、

携帯電話の解約時違約金等がその事案です。また、携帯電話の契約について多くの適格消費者団体が改善申入れをしていて、その案件の交流が行なわれました。

消費者契約法の改正によって消費者団体訴訟制度が発足してから3年が経過し、その制度の有用性が発揮され始めたことを確信できた連絡協議会でした。



札幌で開催された適格消費者団体連絡協議会